

ハウ トウ ハウス

読者と家造りマイスターをつなぐコミュニケーションメディア

岩手ハウジング年鑑

IWATE HOUSING ALMANAC SINCE 1995 vol.17 | 震災復興号 |

How to

500yen

岩手の住まいづくりに関する「？」にお答えします

House 2011

特集

住まい・暮らしの再建に向けて
被災者支援制度の活用を

よりのきつり、長く大切に住んで
これからの住まいづくりへ

長期優良住宅

保険のプロが教える

暮らしの安全を守るために
知っておきたい住まいの保険

被災地企業応援特集
負けずに
前に進みます。

保存版
詳細な工務店の情報をご紹介
ビルダーDATA

家づくり完全ナビ!
住まいのいろは
「いい家づくりはプランニングから」
「論より相談! 家づくりのパートナー」
「始めに学ぶ 家を建てる方法」
「入念な計画で 家づくりのスケジュール」

笑顔あふれる
子育て世代の家づくり
地元有名工務店と共に夢をカタチにしたお宅を拝見
「満足の家」



千年に一度...

この度の大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。
特に沿岸の皆さまの甚大な被害には、心を痛めており、当社のような小さな会社でどのような支援が出来るものかと日々考えております。
当社でも、沿岸に多くのOBのお客さまがおり、震災後の安否確認は、今、振り返つてみれば、本当に辛い時間でした。地獄絵巻のような被災地の中を救援物資を積んで何度も往復し、1軒1軒ドキドキしながらの安否確認。
庭先で津波が止まったお客さま、基礎の半分まで津波に浸ったお客さま、津波にのまれながらも命をつなぎとめたお客さま。
九死に一生を得るようなお話ばかりで、OBさま全員が、ギリギリの線で救われたことは、この未曾有の大震災の中にあつて、奇跡としか言いようがありませんでした。当社もまた、OBの皆さまの強運に救われた...と言つても過言ではありません。

大震災に学ぶ家づくり

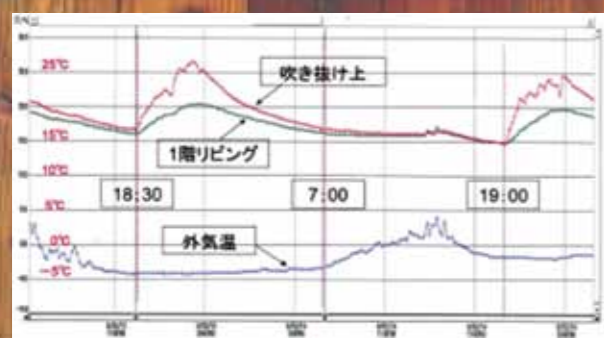
今回の大震災で、多くの方がこれからの家づくりについて、いろいろな考え方を持ったと思います。
特に数日〜1週間近い停電により、電気が無い不便さを痛感し、3月とはいへ、氷点下に近い気温で寒さに耐えざるを得ない状況。もし、1月〜2月だったらと考えると、問題はもっと深刻になっていたかと思ひます。
私も借家住まいのため、震災の夜には、あつという間に室温が10℃を下まわり、家族で厚着をして「寒い寒い」と言つておりました。
まだガスと水が使えた分、懐中電灯で照らしながら調理できたことが不幸中の幸いという状況でした。
オール電化が本当にいいのか...ガス、灯油と熱源は分散の方がいいのか...タンクレスのトイレがいいのか...など、震災後の家づくりの打ち合わせでは、いろいろと考える事が増えました。

断熱性能は、やはり基本

安否確認でOBさまの家をまわつていくとき、こんな話をされました。
①親戚も呼んで、避難生活していました。日中、子供たちを家の中で遊ばせていると、その熱だけで室温が上がっていくんですよ！。人間暖房機！。最後には「暑」...といつて、窓を開けてしまいました...。暖房機がないのに...。
②震災翌日から、近所中で反射式ストロブを探しまわる光景が増えました。そのうち「この家...あつたかいね...」と言われ、近所中のうわさになり、多くのお年寄りの方が日中お茶を飲みに来りました。幸い、オール電化と言いつつ小さいガスコンロがあつたので、お茶が飲めました。人が多くなると室温が上がつていくので、まず家が暖かくなるんです。近所では「オール電化住宅」とか「高性能住宅」という家を建てたはずなのに寒いらしく、我が家は日射が入るだけで暖かくなるので助かりました。

③昨年、友達と同じ時期に家を建てて、友達は、芸能人も使つてコマシヤルしている有名ハウスメーカーさんの高断熱住宅。私は、木の香の家さん。同じ高断熱住宅のはずなのに、友達は震災翌日から「寒い寒い」と言っていたんですよ。我が家は3日くらい平気でしたよ。そのうち電気が回復したので助かりました。

多くの皆さまは、
「オール電化」
「高性能〇〇」
「有名芸能人」
「エコ〇〇」
「ゼロ〇〇」...
と聞くと、断熱性能が高い...と結び付けてしまいます。
この住宅業界は、堂々とオーバートークをしても許される不思議な業界である事は、以前からお話しております。
また「オール電化」と「高断熱」は、そもそも別物ですので、「性能の良いオール電



このかのいえ 木の香の家

もくせいこうかん 木精空間



「ソーラーパネルは、非常時に便利だな...という印象を持ちました。ただし、これも、100V電源1つしか使えないため、エアコンで暖を取ったり、IHを動かしたり出来るわけではありません。そのためソーラーパネルが乗つていけば寒くない...というわけではありません。
また、オール電化がいいのか、熱源を分散した方がいいのかは、判断ができません。岩手のケースで見れば、プロパンガスの家は、震災後でもすぐに調理が出来ました。逆に仙台のケースでは都市ガスの復旧に時間が掛りました。
盲点といえば...ガスコンロなのに高機能過ぎて、電気がないとガスが供給されないというものがあつました。そのため停電の時にガスコンロが使えなかった...という...
もう一つ盲点といえば、タンクレスのトイレだけだと、電気が無いと水が流せない...という事でしょうか。停電が数日続く...と、ちょっと悲惨な状況になりかねません...。これも、震災を経験しての発見でした。
「性能の悪いオール電化住宅」は、快適でない上に、電気代が大幅に掛かるのです。そこを注意して家づくりを考えていただければと思います。
本館に断熱性能の良い住宅は、非常時だけに役立つのではなく、日常生活でも「燃費」「快適性」に大きく影響いたします。
これから2年...
震災の影響で、これから新しい家づくりのラッシュが始まります。
被災された皆さまは、とりあえず急ぎたい...という思いが一番にあるのかと思ひます。ただ、有名だから安心とは言えない住宅業界で、どこに家づくりをお願いするかは短期間で見つけるのは難しいのが現状です。そこで、一つの良い方法があります。
見学会などで、営業マンや、他にお勧めできる会社を2社あげるとしたらどこですか...と聞くことです。不動産屋さんでもいいです。他でも何回か聞いてみて、何か耳にする会社名が出れば、それが一番確実です。業界内では良い話も悪い話も聞こえてくるからです。岩手のビルダーでも、良い家を創っている会社はゴロゴロしています。不思議とそういふ会社はあまり派手な宣伝はしていません。宝探しの感覚で、是非、良い家づくり会社に巡りあうことをお祈りいたします。

ここで、「この組み合わせがベストです」と言い切るのには、それぞれ、メリットとデメリットがあるため難しいです。
当社のOBさまにも、ソーラーパネルを乗せている方、薪ストーブの方、オール電化の方、逆に熱源を分散している方、いろいろといらっしゃると思います。
そのOBさまの家をまわつて、話をいろいろと聞いて、私なりに感じます。少し述べさせていたただきたいと思ひます。鶴呑みにする事なく、家づくりの判断材料の一つにしたいだけ...と思ひます。
「暖」という一点に絞つて考えますと、薪ストーブは非常時にはありがたいなあ...という印象を持ちました。ただし、普段の生活では、毎日の暖を取るのに面倒臭く感じることが出てきたりすることがあります。
また「薪だから安い...」と思つていろいろやる方も多いですが、実は、ランニングコストは意外と高くなる事が多いです。近所に薪がごろごろしている山があれば別ですが...。



有限会社 木の香の家 -木精空間-

■北上オフィス/北上市本通り2-3-44 1F TEL.0197-65-7439 ■盛岡オフィス/TEL.019-637-1781

アクセス数 延べ100万件突破の **爆笑** ホームページ:【木の香の家】で検索!

www.mokusei-kukan.com

木の香の家 検索